

ツアー番号
LK7VM937EC

島巡り (19日間)

19日間・18泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この19日間のツアーでは、西海岸のビーチから南海岸、中部高地、文化三角地帯、東海岸を経由してコロンボに戻るまで、スリランカの全域を巡ります。急ぎ足で観光地を回るのではなく、各地域をゆっくり探索する時間を設けた、のんびりとしたペースで進みます。

旅行者はビーチでの時間、野生動物サファリ、高地の風景、古代都市、海岸での休息など、多彩な体験ができます。ガレ砦、ヤラ国立公園、ミンネリヤ国立公園、高地の町エッラとヌワラ・エリヤ、文化三角地帯のダンブッラ、シギリヤ、アヌラダプラ、ヤパフワ、ポロンナルワの遺跡、そしてトリンコマリーのビーチなど、見どころが豊富です。最後はコロンボで終了します。

このツアーはプライベートツアーで、専属のシャフェール・ガイドが道中の移動をすべて担当するため、毎日のペースと重点を旅行者の関心に合わせて柔軟に調整できます。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

ツアーは西海岸の砂浜が美しいネゴンボから始まります。この町は昔から漁業とウォータースポーツで知られています。



ネゴンボ・ビーチ

ネゴンボの砂浜を楽しみながら、何世紀にもわたって続く伝統的な漁業の様子をご覧ください。ウォータースポーツやダイビングに挑戦すれば、サンゴや海中生物、さらには沖合に沈む50年前の沈没船に群がる多様な魚たちを観察することもできます。

AI生成画像・実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → バラピティヤ → ガッレ

マドゥ川とコスゴダを経由して南へ進み、ガッレへ向かいます。



マドゥ川ボートトリップ

マドゥ川のボートトリップでは、狭いマングローブの水路を進みながら、日なたぼっこをするワニやオオトカゲを観察します。途中、シナモンを栽培する小島への立ち寄りや魚によるマッサージ体験、そして水鳥の姿を楽しむこともできます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



コスゴダ・ウミガメ保護センター

コスゴダ・ウミガメ保護センターを訪れ、スリランカの海岸に産卵する5種の絶滅危惧ウミガメと、同センターによる保護活動について学びます。訪問者は子ガメを見て、触れて、餌を与えることができ、時には保護されている負傷した成体のウミガメも見られます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

3日目 ガッレ

この日はアジアで最も保存状態の良い要塞の一つ、ガッレ・フォートを一日かけて巡ります。



ガッレ・フォート

オランダ統治時代の名残を今も残す石畳の道を歩き、海洋博物館、ガッレ国立博物館、そして灯台を訪れます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

4日目 ガッレ → ヤラ

海岸沿いにヤラへ向かう途中、伝統的な高床式漁法とウッサンゴダの珍しい地形を見学します。



コッガラの高床式漁師

コッガラの海岸で、高い柱の上に腰を下ろして漁をする漁師たちの姿を眺め、何世代にもわたって続くこの伝統漁法について話を聞きます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ウッサンゴダ・ビーチ

木々のない海岸地帯、ウッサンゴダを訪れます。この地には毒性のある蛇紋岩が広がり、限られた植物種しか生育できません。地元の伝説では、この荒涼とした地形はラーマーヤナに登場するハヌマーンとラーヴァナ王の物語に結び付けられています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

5日目 ヤラ

この日はスリランカで2番目に大きなヤラ国立公園でサファリを楽しみます。



ヤラ国立公園サファリ

3時間のサファリに参加し、スリランカヒョウ、野生のスイギュウ、ナマケグマ、そしてゾウの群れを探しながら、公園内に生息する数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を観察します。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

6日目 ヤラ → エッラ

茶畑や岩場の風景を眺めながら、高原の町エッラへ向かいます。



リトル・アダムスピーク

鮮やかな緑の茶畑と岩が広がる道を進み、リトル・アダムスピークからの景色を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチ・ブリッジ

ナイン・アーチ・ブリッジを歩き、その建設にまつわる物語に耳を傾けます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

独特なループ状の線路設計で知られるデモダラ駅で散策を終えます。

A.Savin · FAL

7日目 エッラ → ヌワラエリヤ

風光明媚な列車の旅を経て、かつて英国人が避暑地とした高原の町ヌワラエリヤへ向かいます。



ヌワラエリヤの町

ヌワラエリヤが英国人に愛された高級避暑地であった頃に建てられたコテージや別荘、植民地時代の邸宅が並ぶ通りを歩きます。赤レンガの旧郵便局を訪れたり、クイーンズ・ビクトリア・パークやグレゴリー湖でのんびり過ごしたりできます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0



風光明媚な列車の旅

エッラからナヌオヤまでの鉄道に乗り、茶畑や霧に包まれた村々、高原の景色を眺めます。車窓からは滝や森林も見ることができます。

Chamal N · CC BY-SA 3.0

8日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

草原と雲霧林が広がるホートンプレインズ国立公園へ日帰りで訪れます。



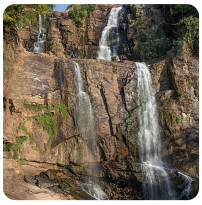
ホートンプレインズ国立公園

オヒヤにあるホートンプレインズ国立公園を訪れ、ワールズ・エンドからの絶景とベイカーズ・フォールズの涼やかな水しぶきを楽しみます。固有種の動植物に注目しながら、この地域の考古学的発見についても学びます。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

9日目 ヌワラエリヤ → キャンディ

滝や茶園、庭園を訪れながらキャンディへ向かい、最後に仏歯寺を訪れます。



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝、ランボダの滝に立ち寄ります。

A.Savin · FAL

マックウッズ・ティー・エステート

マックウッズ・ティー・エステートのガイド付きツアーに参加し、セイロンティーの品種、加工方法、品質について学びます。この茶産業は1824年に英国人がペラデニヤで茶の木を植えたことに始まり、1852年にジェームズ・テイラーがルールコンデラで商業栽培を確立したことで発展しました。



ハッカラ植物園

木陰の並木道と色鮮やかな植栽が広がるハッカラ植物園を散策します。

Own work of Buddhika Mawella · CC BY-SA 3.0



グレゴリー湖

グレゴリー湖の湖畔をゆったりと散歩します。

Rehman Abubakr · CC BY-SA 4.0



仏歯寺

16世紀に仏陀の歯の遺物を納めるために建てられたユネスコ世界遺産、仏歯寺を訪れます。彩色された広間、彫刻の施された柱、金色の仏像が見どころです。

A.Savin · FAL

10日目 キャンディ

この日の夕方はキャンディで伝統的な文化舞踊ショーを楽しみます。



キャンディ文化舞踊ショー

火の舞、剣の舞、太鼓の演奏に合わせたキャンディアン・ダンスなど、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって鑑賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

11日目 キャンディ → ペラデニヤ → マタレ → ダンブッラ

王立植物園、スパイスガーデン、そしてゴールデン・テンプルの古代洞窟を経てダンブッラへ向かいます。



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立された王立植物園を散策し、ラン、スパイス、薬用植物、珍しい木々、カンノンボールツリー、そして吊り橋を見学します。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



スパイスガーデン

マタレにあるスパイス・ハーブ園のガイド付きツアーに参加し、コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどとその用途について学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ダンブッラ・ゴールデンテンプル

紀元前1世紀に遡るダンブッラの洞窟寺院を探訪します。5つの主要な洞窟には古代の壁画と数百体の仏像が安置されており、「神王の洞窟」「大王の洞窟」「新大僧院」などが含まれます。境内の外には黄金の仏像も見られます。

Lankapic · CC BY 2.5

12日目 ダンブッラ → シギリヤ → ダンブッラ

シギリヤ・ロックの登頂を楽しむ日帰り旅行です。



シギリヤ・ロック要塞

5世紀に築かれたシギリヤ・ロック要塞に登り、ライオンの爪の形をした門をくぐります。色褪せた壁画、段々状の庭園、今も機能する貯水池、そして旧王宮へと続くトンネルをご覧いただけます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

13日目 ダンブッラ → アヌラーダプラ → ダンブッラ

古代都市アヌラーダプラとアウカナ仏像を訪れます。



アヌラーダプラ

10世紀まで千年以上にわたりスリランカの首都であったアヌラーダプラの遺跡を歩き、仏塔や僧院建築、池などを見学します。ジェータワナーラーマ、スリー・マハー菩提樹、アバヤギリ僧院などが含まれます。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0



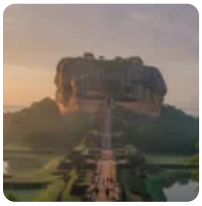
アウカナ仏像

一つの岩から彫り出された高さ40フィートの立像、アウカナ仏像を見学します。背面のわずかな接合部のみで支えられており、近くにはかつて像を守っていた覆屋の一部も残っています。

Carlos Delgado · CC BY-SA 4.0

14日目 ダンブッラ → ヤーパフワ → ダンブッラ

かつて政府の所在地であり、仏歯の一時的な安置場所でもあったヤーパフワ・ロック要塞を訪れます。



ヤーパフワ・ロック要塞

13世紀に政府の所在地となり、かつて仏歯寺が置かれていたヤーパフワを探訪します。装飾的な階段、入口のアーチ、寺院の遺跡、彫刻などが見どころです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

15日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

古代都市ポロンナルワを訪れ、ミンネリヤ国立公園でサファリを楽しみます。



ポロンナルワ

800年前、王政のもとで商業と宗教の中心地として栄えたポロンナルワの遺跡を探訪します。寺院や当時の都市生活を物語る考古学的な遺構が今も見られます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園サファリ

3時間のサファリでミンネリヤ国立公園を訪れます。5月から10月にかけて150頭を超えるゾウが集う「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られ、その他多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も観察できます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

16日目 トリンコマリー(16日目〜17日目)

東海岸のニラベリ・ビーチで2日間のんびりと過ごします。



ニラベリ・ビーチ

黄金色の砂浜、椰子の木、透明な海が広がるニラベリ・ビーチでくつろぎます。10世紀のタミル語碑文には、この海岸がコネスワラム寺院へ寄進されたことが記されています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0

18日目 トリンコマリー → コロンボ

トリンコマリーからコロンボへ移動し、ホテルにチェックインします。

19日目 コロンボ → 空港

出発前の最終日はコロンボの観光を楽しみます。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ガッレ・フェイス・ホテル、ガッレ・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館など、コロンボの歴史的名所を訪れます。独立記念広場やレースコース周辺のショッピングモール、ブティック、ブランド店も散策できます。

Gihanud2001 · CC0

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.